

## 活動報告

## 筑波大学理療科教員養成施設活動報告 (平成30年度)

施設長 教授	緒方 昭広
准教授	和田 恒彦
講師	徳竹 忠司
	濱田 淳
技術専門職員	神田 聖子
	恒松 隆太郎
非常勤講師	小林 智子
	廻谷 滋
	半田 美香子
	佐々木 皓平
	西村 博志
	松江 泰寛
	佐藤 卓弥
臨床専攻生	蓑和田 一洋
理療研修生	國見 一雄
	内田 大司
	大渡 泰子
	佐藤 明子
	梅田 浩孝
	栢森 結希
	鈴木 博
	古瀬 美奈
施設生	第2学年18名
	第1学年16名

本年は22名のスタッフと施設生34名により、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部鍼灸治療室を運営した。

## I. 施設の概要

筑波大学理療科教員養成施設は、明治36年(1903年)3月10日に「東京盲啞学校」の「教員練習科」として誕生以来、115年間全国の盲学校、視力障害センター、鍼灸マッ

サージ師養成学校の教員、鍼灸関連大学教員を輩出すると共に、わが国における東洋医学の研究拠点として足跡を残してきた。本施設は、教育職員免許法にもとづき文部科学省が認可した指定教員養成機関である。あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の3種を有する者に、2年間(89単位)の教員養成教育を行う。

施設附属の「理療臨床部」は、施設生の臨床実習施設としてのみならず、あん摩マッサージ指圧、鍼、灸、物理療法の基礎的・臨床的研究、および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員4名、技術専門職員2名、事務員2名が学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学を卒業し、あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者、あるいは本施設卒業者が入学することができる。

理療研修生は、鍼灸に関する卒後臨床指導を受ける者で、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学することができる。

## II. 入学・就職状況

## 1. 施設生 入学試験

1) 盲学校専攻科理療科卒業見込者を対象とした平成30年度推薦入学では、受験者4名(うち女性2名)、入学者3名(女性1名)であった。

2) 一般入学では、受験者18名(女性4名)、入学者14名(女性3名)であった。出身

学校は、盲学校9名、視力障害センター3名、専門学校2名であった。

## 2. 施設学生就職

平成30年卒業予定者は18名、教員の求人数は正規採用12名、任期付採用13名、厚生労働省管轄施設2名、就職先の内訳は、盲学校13名、国立リハビリテーションセンター1名、専門学校1名、その他1名、大学院進学者2名であった。

## 3. 臨床専攻生入学

臨床専攻生は1名が入学した。

## 4. 理療研修生入学・就職

理療研修生は、入学者4名で、期間延長者を含めると8名であった。

## Ⅲ. 業務

理療科教員養成施設の授業、治療室活動以外に、学内、学外で以下の業務を行った。

1. 大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻で「スポーツ医学セミナーⅡ」、「スポーツ医学概論Ⅱ」、「スポーツ医学とは？フロンランナーに聞いてみよう！！」の授業を行った。
2. 大学院人間総合科学研究科障害科学専攻で、「障害科学調査・実験実習Ⅱ」、「障害科学研究法Ⅰ」、「障害科学研究法Ⅱ」、「障害科学研究法Ⅲ」、「理療教育学特講」、「理療科教育実践演習」、「東洋医学概論」、「理療臨床論特講」、「理療臨床論Ⅰ」、「理療臨床論Ⅱ」、「理療教育学演習」、「理療研究法」、「理療教育指導実習」、「理療臨床実習Ⅰ」、「理療臨床実習Ⅱ」、「理療教育授業開発演習」、「障害科学研究実践法」、「視覚障害学講究Ⅰ」、「視覚障害学講究Ⅱ」、「視覚障害学講究Ⅲ」、「障害と共に生きるⅠ」の授業を行った。
3. 人間学群で、「物理療法」、「物理療法特論」の授業を行った。
4. 医学専門学群4年生を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」

について講義・実習を行った。

5. 総合科目「スポーツ医学とは？フロンランナーに聞いてみよう！！」の授業を行った。
6. 現職教員の教育の一環として、文部科学省との共催で、盲学校（視覚特別支援学校）理療科教員85名を対象に、5日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
7. 教員免許更新講習を文部科学省との共催で、34名を対象に、5日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
8. 公開講座「視覚特別支援学校理療科教員免許法認定講習会」を、文部科学省との共催で、受講者18名を対象に4日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
9. 社会人を対象とした、公開講座「健康と東洋医学 家庭でできる手技療法」を筑波大学東京キャンパス文京校舎において、週1回、計6回実施した。
10. 鍼灸専門学校1年生を対象に講義を行った。
11. 鍼灸専門学校学生を対象に実技供覧を行った。

## Ⅳ. 臨床活動

### 1. 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月・火・木・金曜日の午前9時から午後5時に行っている。指導者2～4人に対し、施設生・専攻生・研修生が従事して臨床にあたっている。平成30年の理療臨床部の開設日数は177日、患者数は、初見175名、年間延べ患者数は4,522名であった。

### 2. 競技支援

筑波大学附属視覚特別支援学校のゴールボール選手、ブラインドサッカー選手の体組成定期計測、試合帯同、試合動画撮影、理療

科教員養成施設OB視覚障害者柔道選手鍼灸マッサージによるコンディショニングサポートを行っている。

## V. 研究活動

### ◇原著論文

- 1) 工藤 滋, 原 早苗, 和田恒彦: 盲学校理療科生徒による平面上の2点間の正確な等分点決定に影響を及ぼす要因, リハビリテーション連携科学, 19巻, 1号, 21-27, 2018
- 2) 寺田和史, 和田恒彦: 視覚障害者と鍼灸・あん摩マッサージ, 天理大学人権問題研究室紀要, 21巻, 19-27, 2018
- 2) 宮村健二, 徳竹忠司, 坂井友実: 両手刺手管鍼法(仮称)による刺鍼法の構築—鍼が筋硬度に及ぼす影響の検討—, 日本東洋医学系物理療法学会, 2018.3, 東京
- 3) 岩池優希, 遠藤珠美, 大塚優里菜, 平井迪彦, 水上次郎, 徳竹忠司: 圧迫手技が筋の伸長性に及ぼす影響, 日本東洋医学系物理療法学会, 2018.3, 東京
- 4) 須藤充昭, 宮本俊和, 和田恒彦: ブラインドマラソンにおける伴走方法の検討, スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2018.3, 東京
- 5) 田口淑也, 大渡泰子, 内小百合, 功刀峻, 内藤知華, 佐藤卓弥, 和田恒彦, 宮本俊和: 筑波大学教育戦略推進プロジェクト2017帯同報告—高大連携による視覚障害アスリートの競技支援—, スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2018.3, 東京
- 6) 佐藤卓弥, 角田朋之, 内小百合, 田口淑也, 大渡泰子, 内藤知華, 廻谷 滋, 市川あゆみ, 和田恒彦, 宮本俊和: 筑波大学における視覚障害者アスリートの競技支援, スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2018.3, 東京
- 7) 玉井伸典, 黒田修成, 沼本尚輝ルーカ, 矢部隆之, 和田恒彦, 濱田 淳, 徳竹忠司, 緒方昭広: 視覚障害者が筋タイトネステストを実施するための器具の作成と有効性の検討, 第73回日本体力医学会大会, 2018.9, 福井
- 8) 金本浩忠, 西岡俊明, 鈴木義利, 渡辺 亮, 濱田 淳, 緒方昭広: 鍼治療におけるリスク管理教育の実態調査—はり師・きゅう師養成学校を対象としたアンケート調査—, 第37回(公社)全日本鍼灸学会 関東支部学術集会, 2018.11, 埼玉

### ◇総説等

- 1) 佐藤卓弥, 内藤知華, 林健太郎, 廻谷 滋, 功刀 峻, 角田朋之, 市川あゆみ, 和田恒彦, 宮本俊和: 筑波大学理療科教員養成施設のパラリンピアンへの競技力向上の取り組み, 埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会誌, 8巻1号, 10-14, 2017
- 2) 和田恒彦, 矢野口仁: 視覚障害教育の現状と課題~平成29年度全国盲学校校長会調査~, 筑波大学理療科教員養成施設紀要, 3巻, 1号, 23-25, 2018
- 3) 徳竹忠司: シンポジウム「腰痛に対する治療の実際」 鍼通電療法—筋パルス、椎間関節部パルスの応用—, 日本東洋医学系物理療法学会雑誌, 43(2): 27-36, 2018
- 4) 徳竹忠司: 低周波鍼通電療法—筋肉パルス各論8 股関節周辺筋③ 大腿筋膜張筋・中殿筋・小殿筋, 現代鍼灸学, 18(1): 37-46, 2018

### ◇学会発表

- 1) 三谷和之, 和田恒彦, 恒松隆太郎, 徳竹忠司, 濱田 淳, 宮本俊和: 登山における鍼・マッサージの研究に関する文献調査, 日本東洋医学系物理療法学会, 2018.3, 東京

### ◇講演等

- 1) 緒方昭広: 鍼通電刺激による精神性ストレス反応の抑制機構, 2018.7, 東京

- 2) 緒方昭広：台湾の視覚障害者のための講演事業として，2018.9，台湾
  - 3) 緒方昭広：筑波大学附属視覚特別支援学校研究協議会（鍼灸手技療法科）講師 校内臨床実習におけるカルテ指導の取り組み，2018.10，東京
  - 4) 緒方昭広：長野県松本盲学校研究会講師（理療教育部教育実践研究会），2018.10，長野
  - 5) 緒方昭広：杉並区視覚障害者協議会講演，2018.8，東京
  - 6) 緒方昭広：2018年NPO法人ジャパンハート主催支援事業 ミャンマーの視覚障害者の自立支援事業－日本の手技療法指導－，2018.8，ミャンマー
  - 7) 和田恒彦：臨床医学総論，平成30年度筑波大学（東京キャンパス文京校舎）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習，2018.7，東京
  - 8) 和田恒彦：平成30年度特別支援学校自立教科等担当教員（理療）講習会・筑波大学免許状更新講習会，2018.7，東京
  - 9) 和田恒彦：経穴，筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ！，2018.9，東京
  - 10) 徳竹忠司：臨床医学総論，平成30年度筑波大学（東京キャンパス文京校舎）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習，2018.7，東京
  - 11) 徳竹忠司：臨床医学各論，平成30年度筑波大学（東京キャンパス文京校舎）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習，2018.7，東京
  - 12) 徳竹忠司：トリガーポイント手技療法，秋田県視覚障害者福祉協会，2018.8，秋田
  - 13) 徳竹忠司：筋筋膜痛症候群と手技療法，日本あん摩マッサージ指圧師会，2018.9，東京
  - 14) 徳竹忠司：手技療法①，筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ！，2018.11，東京
  - 15) 徳竹忠司：鍼通電療法における情報収集，筑波大学視覚特別支援学校校内研修会，2018.12，東京
  - 16) 徳竹忠司：肩関節周囲炎に対する鍼通電療法，横浜市立盲特別支援学校校内研修会，2018.10，横浜
  - 17) 徳竹忠司：シンポジウム「腰痛に対する治療の実際」 鍼通電療法一筋パルス，椎間関節部パルスの応用一，第43回日本東洋医学系物理療法学会，2018.3，東京
  - 18) 徳竹忠司：膝関節痛に対する鍼通電療法，日本東洋医学系物理療法学会実技セミナー，2018.8，東京
  - 19) 濱田 淳：臨床医学総論，平成30年度筑波大学（東京キャンパス文京校舎）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習，2018.7，東京
  - 20) 濱田 淳：手技療法②，臥位での手技療法（あん摩・マッサージ），筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ！，2018.11，東京
  - 21) 恒松隆太郎：手技療法，筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ！，2018.11，東京
- ◇開催講習会
- 1) 平成30年度盲学校理療科教員免許法認定講習会，2018年7月2日～5日，筑波大学東京キャンパス文京校舎，東京
  - 2) 平成30年度視覚特別支援学校自立教科担当教員講習会，2018年7月17日～20日，筑波大学東京キャンパス文京校舎，東京
  - 3) 平成30年度筑波大学教員免許状更新講習会，2018年7月17日～20日，筑波大学東京キャンパス文京校舎，東京
  - 4) 平成30年度筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ！家庭でできる手技療法，2018年9月～11月，筑波大学東京キャンパス文京校舎，東京

- 5) 視覚障害ボランティアセミナー～東京  
2020オリンピック・パラリンピックに向  
けて～, 2018年9月25日, 筑波大学東  
京キャンパス文京校舎, 東京

◇開催学術大会

- 1) 平成30年度スポーツ鍼灸リサーチミー  
ティング 2018年3月4日, 筑波大学東  
京キャンパス文京校舎, 東京
- 2) 第42回日本東洋医学系物理療法学会学  
術大会 大会長 宮本俊和: 2018年3月  
10日～11日, 筑波大学東京キャンパス文  
京校舎, 東京

◇研究助成

- 1) 筑波大学教育戦略推進プロジェクト支援  
事業(研究代表者: 和田恒彦): 「筑波型イ  
ンクルーシブ教育システムによる視覚障害  
パラリンピアンへの支援」, 2018
- 2) 和田恒彦: 機能性を重視したレッグウェ  
アの開発, (株)ナイガイとの産学連携研究,  
2018
- 3) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金  
(基盤研究(C))(研究代表者: 濱田淳): 「鍼  
灸実技実習における視覚障害学生の治療教育  
プログラムの開発に関する教材論的研究」,  
2018